

寄附金の運用益を若手研究者支援へ 「竹中登一ライフサイエンス岐阜大学研究助成」を創設

岐阜大学ではこのたび、岐阜大学名誉博士であり、元アステラス製薬株式会社会長の竹中登一氏から「岐阜大学基金 大学経営自律化促進事業」へいただいたご寄附の運用益を活用し、新たな研究助成制度「竹中登一ライフサイエンス岐阜大学研究助成」を創設しました。

本助成制度は、岐阜大学旧農学部獣医学科卒業生である竹中氏の多大なご支援に敬意を表するとともに、本学家畜薬理学教室で学んだイオンチャネルと受容体の薬理学を、その後、高血圧治療薬「ペルジピン」や排尿障害治療薬「ハルナール」の創薬に応用された経験を踏まえ、「ライフサイエンス分野の研究を支援したい」という竹中氏の思いを将来にわたり継承・発展させることを目的としています。

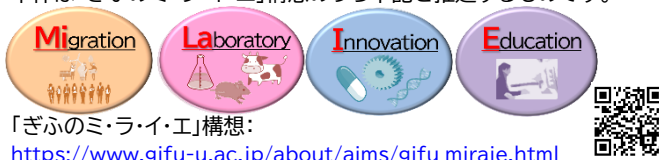
助成対象は、本学に所属する 40 歳未満の若手ライフサイエンス研究者です。基礎研究から応用研究まで幅広い研究分野において、独創性や将来性に富んだ研究活動を毎年支援します。これにより、将来的な大型研究資金の獲得や新たな学術領域の創出につながる研究の発展を目指します。

「大学経営自律化促進事業」では、皆様からいただいたご寄附を長期的に運用し、その運用益を教育・研究活動等に活用することで、継続的かつ安定的に大学の活動を支える仕組みづくりを進めています。今回の研究助成制度は、この仕組みにより生み出された運用益を若手研究者の支援に還元するものです。

今回の研究助成制度の創設は、寄附者の思いを将来にわたる大学の教育・研究活動につなげる取組です。岐阜大学は今後も基金の運用を通じて教育・研究環境の充実を図り、本学のさらなる発展に取り組んでまいります。

つきましては、本取組についてぜひご取材くださいますようお願いいたします。

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。



東海国立大学機構 HP: <https://www.thers.ac.jp/>

問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学
Development Office(DO 室) 稲富 美仁
TEL:058-293-3277/090-5536-6626
E-mail:inatomi.yoshihito.h6@mail.f.thers.ac.jp